

よりよい道路交通環境をめざして

～神奈川県東部地域の道路交通問題に関するアンケート調査結果～

- 記者発表資料 -

- 神奈川県東部地域(主に相模川以東の地域をいう。以下同じ)では、幹線道路の渋滞が日常化し、交通事故や環境の悪化など市民のみなさまの生活環境や経済活動等に影響が出ています。
- このため国土交通省では、日頃みなさまが道路交通問題にどのようにお考えかを聞き取るため、平成15年2月21日から3月31日にかけて神奈川県東部地域にお住まいの6,340人を対象にアンケートを実施しました。
- このたび、その結果がまとまりましたのでお知らせいたします。
アンケート結果(主なもの)
 - ・約3/4の方々が、渋滞等により沿道環境や生活環境が悪化していると感じています。
 - ・約半数の方々が、東京(縦断)方面の幹線道路を連絡する横断方向の幹線道路の整備を進めるべきと思っています。
 - ・ほとんどの方々が、道路計画を進めるにあたりPI(パブリックインボルブメント)を導入することが良いと思っています。
- 国土交通省ではこのような貴重な意見を十分配慮し、今後の検討に活用させていただきます。
- アンケート結果は、下記のホームページでもご覧いただけるほか、神奈川県東部地域の各市区町及び神奈川県庁、国土交通省横浜国道事務所に希望者に配布します。

国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所ホームページ
<http://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/>

平成15年4月30日

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・さいたま新都心記者クラブ
神奈川県政記者クラブ・横浜海事記者クラブ
神奈川建設記者会・横浜市政記者クラブ
川崎記者クラブ

お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

調査第一課長 ほんだ やすひで 本田 康秀
電話045-316-3536(直通)

アンケート調査結果のポイント

(1) 実施概要

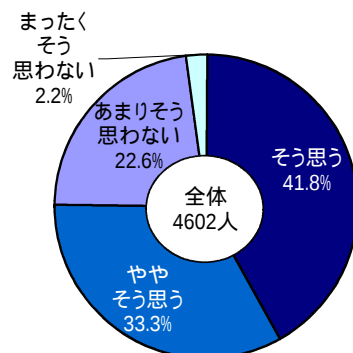
- 対象地域：神奈川県東部地域（主に相模川以東の地域）
（横浜市、川崎市、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、相模原市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、寒川町の11市1町）
- 対象者：対象地域内に居住の20歳以上の方々 6,340人
- 実施期間：平成15年2月21日（金）～平成15年3月31日（月）
- 回答者数：4,602人
あわせて、横浜商工会議所のご協力を得て、横浜市内の主要事業所（1,936社）にも同様のアンケート調査を実施しており、1,736社から回答をいただいています。主要事業所からいただいたアンケートもほぼ同様な結果となっています。

(2) 結果概要

- 渋滞等により沿道環境や生活環境が悪化しているという意見について、
→約3/4の方々が沿道環境や生活環境が悪化していると感じています。

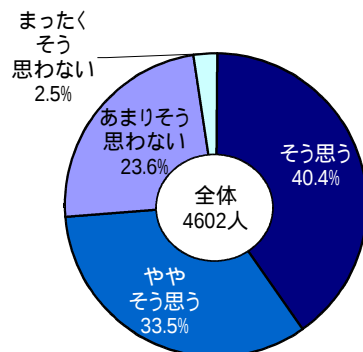
問 渋滞等により大気汚染、騒音といった沿道環境が悪化しているという意見がありますがあなたはどう思われますか。

答 「そう思う」は約42%、
「ややそう思う」は約33%
合わせると約75%（事業者アンケートでは約79%）の方々が沿道の環境が悪化していると感じています。



問 幹線道路の渋滞等により、迂回したクルマが身近な地域の道路あふれ、生活環境が悪化しているという意見がありますが、あなたはどのように思われますか。

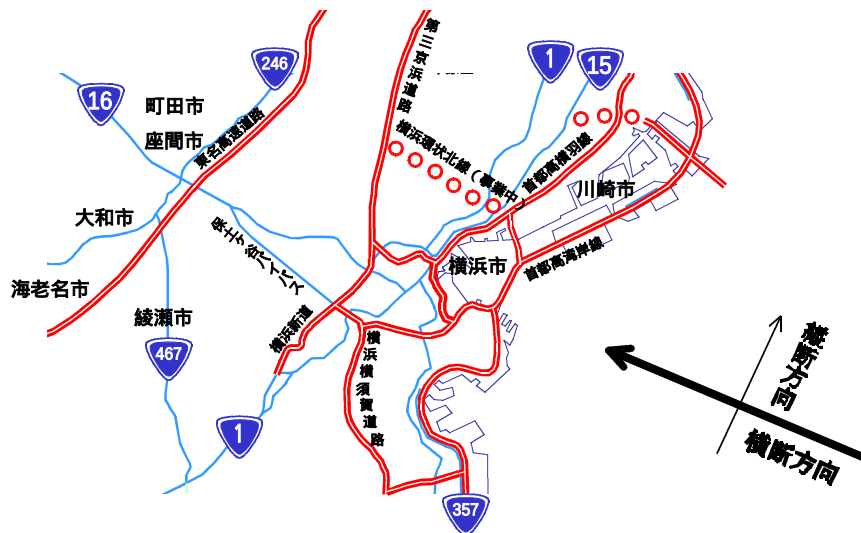
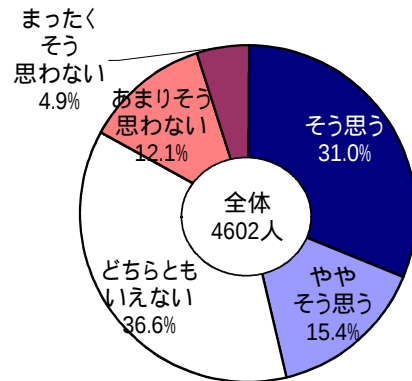
答 「そう思う」は約40%、
「ややそう思う」は約34%
合わせると約74%（事業所アンケートでは約78%）の方々が生活環境が悪化していると感じています。



- 東京(縦断)方面の幹線道路を連絡する横断方向の幹線道路の整備を進めるべきという意見について、
→約半数の方々が横断方向の幹線道路の整備を進めるべきと思っています。

問 この地域において横断方向の新たな幹線道路の整備を進めるべきという意見について、あなたはどのように考えられますか。

答 そう思う 31%
ややそう思う 約15%
合わせると 46% (事業所アンケートでは約67%) の方々が横断方向の道路の整備が必要と答えています。



- 神奈川県内の道路計画検討にP I (パブリックインボルブメント)を導入することについて、
→ほとんどの方々がP Iの導入が良いと思っています。

問 今後、神奈川県内の道路計画の検討にP Iを導入し、進めていくことについて、あなたはどのように考えられますか。

答 非常に良いと思うは約34%
良いと思うは約60%
合わせると約94% (事業者アンケートでは約96%) の方々がP Iの導入が良いと答えています。

